

ペタンク/ニチレクボール

1. 概要

サークルの中に立って標的球(ビュット:ニチレクボールは黄色の樹脂製、ペタンクは木製)に向かい、2チームがそれぞれ色が異なるボールを投げ合い、より近づけることで得点を競うゲーム。

ルールは簡単ですがゲームの読みには経験を必要とするので実力的に差があっても作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚をとることもあります。

屋外で行うペタンクと屋内で行うニチレクボールは、使う球の材料は異なるが競技ルールは同じ(ペタンク:鉄球 ニチレクボール:ゴム球)



2. 用具

ボール 色または模様の異なるボール 6個×2セット

標的球(ビュット) 1

サークル 1

3. コート 幅4m×長さ15m以上あればよい

4. 競技方法

- ① ジャンケンなどで標的球を投げる権利を決める。
- ② 標的球を投げるチームの先攻でおこなう。
標的球はサークルから6～10mに止める。
- ③ 先攻チームの第1投球者が標的球の近くにボールを投球する。
- ④ 後攻チームは先攻チームより一層近くに寄るまで何回でも投球する。
- ⑤ 次に標的球よりボールが遠くなったチームが投球する。これを繰り返し全投球した時点で最も標的球に近いボールのチームが勝ちとなる。
- ⑥ 一方のチームが6球投げ終わっても勝ったチームに残球があれば、更に得点を稼ぐために投球する。これで1セット終了となる。
- ⑦ 投球によりボールを動かしたり、標的球を動かしたりすることで得点することができる。
- ⑧ このセットで勝ったチームが次のセットで標的球をころがし、先攻となりゲームを進める。セットは何回も繰り返して13点先取したチームが勝ちとなる。
- ⑨ ポイントの測定は最後にボールを投げたプレイヤーもしくは同じチームのプレイヤーがおこなう。

5. 投球方法

プレーヤーが1対1の場合	1人6個	
2対2の場合	1人3個	投球する。
3対3の場合	1人2個	

手の甲を上にしてボールをつかみ、アンダーハンドスローでボールに逆回転をかけるように投球する。

投球の際はサークルを踏んだり、ボールが地面に落ちる前に足を上げてはいけない。

投球順は自由(連続して投球してもよい)



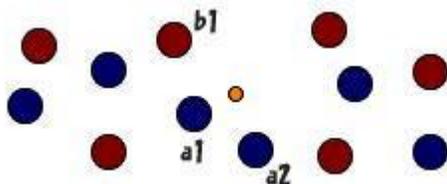
手の甲を上にする



円の中から投球

6. 得点方法

得点を得る事ができるのはビュットに一番近いボール(ベストボール)のチームになります。得点の数は、負けたチームのビュットに一番近いボールよりも、さらに近いボールの数が得点になります。



上記の場合、ビュットに一番近いボールが「a1」なのでaチームの勝ちになります。

そして、bチームのビュットに一番近いボールがb1なので、aチームはそれよりも近いボール2個(a1とa2)が得点となります。

aチーム・・・2点

bチーム・・・0点(負けたチームは常に0点になります)

※ペタンク/ニチレクボールのスコアカードは公式品から各団体が考えたものまで様々のものがあります。インターネットで検索すると簡単に見つかりますので、使いやすいものを引用すれば良いでしょう。